

|| 新春座談会 ||

さめがわの魅力、再発見!

新年あけましておめでとうございます。
2014年の年頭にあたり、大楽村長をはじめ、前田村議会議員、
村内で活動されている若い世代の方々に、
それぞれの立場から見えてくる鮫川村の魅力についてお話いただき、
今後の村づくりにつなげていきたいと思っておりますので、
よろしくお願いいたします。(司会あいさつ)



出席者

大楽勝弘村長

前田三郎村議会議員

高野加代子さん(主婦・西山字発地岡在住)

遠山陽子さん(緑のふるさと協力隊・西山字沼野沢在住)

阿久津修司さん(農業・赤坂西野字滑石在住)

関根巨樹さん(村商工会青年部長・西山字水口在住)

(写真右から)

それぞれの立場で
変化があった2013年

まず、二〇一三年が皆さんにとってどんな一年だったかお聞かせください。

関根 商売をさせてもらって、そして、村商工会青年部として村にお世話になっていている身としては、与えられた環境が大きく変わった年でした。村商工会青年部の部長職という役職をもらい、また一つ村を見る目が変わったのかなと思います。それとともに、若手が入ってきているので、若手の育成をしていかなければいけないと思った一年でもありました。

遠山 緑のふるさと協力隊として、四月から鮫川村で生活していますが、やることなすこと全てが初めての経験で、自分の中で大きく一歩踏み出

した年でした。一人暮らしや雪道の運転など、「初めて」が数え切れないくらいありました。
高野 子どもの成長とともに、生活も変わった年でした。昨年、一番下の子がこどもセンターに通い始めたので、今まで以上に家の手伝いができるようになりました。農作業などをお義母さんに習っています。

阿久津 近年、農作業受託を受ける件数が増えています。また、昨年の夏には村から委託された草地の除染作業も並行してやっていたので、例年以上に忙しい年でした。

村長 村の大きな事業もひと段落し、第三次鮫川村振興計画のまとめの年としては良かったと思います。また、子どもたちの活躍に背中を押され、勇気ももらいました。子どもに負けないように、大人の責任としてしっかり前進しな



Yoko Toyama

温かく迎えてくれる 村の人の優しさに感激

ればと思われた一年でした。
議長 東日本大震災の影響により、村議会として住民の生活安定のために奔走した一年でした。今後、住民の理解を得ながら事業を進めていけば、以前の鮫川村の姿を取り戻すことができると思います。

美しい里山景観と
「おもてなし」の心

—— 続いて、本日のテーマ「さめがわの魅力、再発見」ということで、それぞれの立場から見えてくる鮫川村の魅力に

人口減少を逆手にとつて 少人数だからできることがある



Naoki Sekine

ついでにお話いただきましたと思います。まず、農業に従事している阿久津さんは、どういったところに村の魅力を感じますか。
阿久津 草刈りが行き届いた美しい景観は、金で買えるものではなく、それは、鮫川村の魅力が減ると思います。そのため、耕作したり土手を草を刈ることをやり続けることが必要になります。実際にその場を訪れないと味わえない感動や美しさを持つているもの、インターネットなどでは感じられないものがあることは大切だと思います。
村長 景観の美しさは農業を続けることで守られています。耕地が荒れてしまつては、里山景観は保たれません。きれいな村づくりはとても大切だと思っています。また、都市部の人たちが「ゴミが捨



Kayoko Takano

安心して子どもを預けられる 子育てしやすい村です

いと分らないことがたくさんありました。
また、鮫川村の皆さんは、優しい人たちがばかりで感激しています。ふらつと行っても嫌な顔ひとつせず、お茶を出して温かく迎えてくれます。

充実した子育て環境と人とのつながり

高野さんは専業農家に嫁いで子育てをしています。鮫川村の子育て環境はどうでしょうか。

高野 子育てしやすい環境だと思います。幼保一体というだけでも送り迎えの手間が減ります。また、先生方もみんな知っているので、安心して保育を受けることができます。
関根 夕方、一時間でも遅く子どもを預かってくれるかどうかで、親としては全く違い

ます。この子育て環境を維持してほしいと思いますね。

阿久津 確かに他市町村と比較しても、すばらしい子育て環境だと感じます。こどもセンターは、全国に胸を張れるくらいだと思います。

関根さんは、商工会青年部としてさまざまな活動に取り組み、地域との関わりも多いかと思います。その中で見えてくる魅力はありますか。

関根 鮫川村のいいところとしては、人口が少ない分、いろんな人の声が通りやすいというところがあると思います。なので、間口を広げて、村の



Syuji Akutsu

訪れないと味わえない 里山の美しさがある

取り組みの中に若者の声を吸い上げられるような環境があると思います。
また、青年部の活動を通して、少ない人数だからこそできることがあると感じています。何かをやるにしても少数精鋭であうんの呼吸でできています。人数が多いから何か大きいことができるとは限らず、少ない人数でやっているところから新たな力を引っ張ってきてくれます。最近では、そういった取り組みを広域で連携していて、横のつながりに力を入れていきます。今後も、そういったつながりを



Katsuhiko Dairaku

皆さんの夢を集約させた 次なる振興計画を策定します

りたいという人を受け入れて、いずれば独立させるといいう仕組みを作ればいいなと考えています。そうすることで、少しでも農業経営者が増えることにつながるのかなと思います。

村長 阿久津さんのような若い農業経営者に頑張ってもらって、次の世代につないでほしいです。

遠山 四月から緑川シンヨキ（内ヶ竜）に「シンヨ漬け」の作り方を直接教えてもらって、レシピ作りをしています。初めて作る人でもシンヨさん

の味を出せるかが気になります。

また、鮫川村に来てから、いろんな人たちにお世話になりました。残り三カ月で、自分なりに少しでも恩返しをしていきたいです。

高野 子どもたちが健やかに成長してくれることが一番の幸せです。農作業の手伝いをするようになって、なるべく農業を使わないで育てたものを食べさせたいと思っています。お義母さんからいろいろ教わって、安心・安全な野菜を作っていきたいと思っています。
議長 住んでみたい住んでよ

かっと思える村づくりをしていきたいと考えています。

そのために、村議会として行政に提案していきたいと思えます。それが議員の役割です。地域に入って村民の意見を集約して、それを村政に反映していきたいです。

それでは、最後に大楽村長の夢をお聞かせください。
村長 今年、第四次鮫川村振興計画の策定の年です。大字ごとに地域懇談会を実施するので、それぞれの地域で皆さんの夢を意見として出してもらいたいです。そして、皆さんの声を反映した振興計画を策定し、人が集まる村づくりを実現していきたいと思

——新しい年二〇一四年が飛躍の一年になることを願って、座談会を終わりにしたいと思います。本日は、ありがとうございました。

てられていなくて、こんなにきれいな村は初めてだ」などと、環境の良さに感激しています。そう言ってもらえると、住んでいる私たちもさらに誇りに思えます。そのためにも、村民一人一人がゴミを捨てずに、ゴミを見つけたら拾うなどして、さらに美しい村にしていきたいですね。

議長 里山景観を守っていくためには、阿久津さんのような農業経営をする仲間を作ってもらふ必要があると思います。また、そこに暮らす人の魅力があると思います。農村の人というのは「おもてなし」の心を持っています。都市部の人はずいぶん違うので、鮫川村に来てくれるのかなと感じます。

——遠山さんが思う「鮫川村の魅力」は何ですか。

遠山 まず、鮫川村に来て感じたことが食べ物との距離が近いということです。多くの人が自分で野菜を作って、それを食べて生活しています。また、たくさんの保存食が作られています。その作り方はインターネットでは知ることができません。経験談が多いので、直接教えてもらわな

大切に、いろいろなことに取り組んでいきたいと思っています。
村長 皆さんのような若い人たちが、鮫川村に対して自信を持って生活していることは、とてもありがたいことです。ぜひ、皆さんのような仲間をたくさん作ってください。

皆さんの声を村政に 村づくりは次の段階へ

——最後に、それぞれの夢や願いをお聞かせください。

関根 矢祭町に「もったいない図書館」がありますが、その反対で普通の図書館では読めないような高価で専門的な本を図書館に置いてほしいです。子どもたちにとっても、本を読む環境は大切だと思います。いろんな本に触れる機会を作ってあげたいです。
阿久津 村外の人で農業をや



Saburo Maeda

地域に入り村民の意見を 行政に反映させたい